

総務委員会・分科会での主なQ&A

3/14 開催
付託議案 8件
請 願 2件

クラウドファンディング 活用支援事業について

Q これまで予算計上されていたSIB推進支援業務委託料及びつながり広がるチャレンジ応援事業交付金を本事業に変更した理由は？

A 本事業はソーシャルビジネスに取り組む事業者が、民間が実施するクラウドファンディングを活用して資金調達する際の手数料を一部補助するものである。

また、平成30年度から実施してきたSIB事業については、事業者の募集開始から事業完了までの手続きを年度内に行う必要があり、事業に取り組む期間が実質半年程度となるなど、事業者に負担が大きかった。

このため、より柔軟に資金調達が可能となる民間のクラウドファンディングを活用する事業者に対し支援することとした。

避難行動要支援者支援事業 について

Q 令和6年度の実績及び令和7年度の取組内容は？

A 令和6年度から開始した本事業は、福祉サービスを利用する高齢者などでハザードマップ上、危険な場所に居住するなどのうち、災害時に自力で避難することが困難な個人の個別避難計画を、福祉事業者の協力を得て作成するものである。

令和6年度当初予算では、本計画の対象者を約千500人と見込んでいたが、事業の進捗に伴い、入院中のかた、市外へ転出しているかたなどが判明したことから対象者を約900人に修正した。このうち、令和6年度は約500人の計画が作成できると見込んでおり、令和7年度には、残りの約400人に新たに本計画作成の対象者となると見込まれる約200人を加えた合計600人の計画を作成する予定である。

福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

3/14 開催
付託議案 19件

西条市下水道条例の一部を 改正する条例について

Q 令和6年12月定例会では、平均改定率28・6パーセントとしていた議案を、今回値上げ幅を縮小し平均改定率25・5パーセントとした根拠は？

また、公営企業として独立採算制が基本原則であるが経費回収率100パーセントを達成するには、今後改定を何回行う必要があるのか？

A 総務省が公表している四国における消費者物価指数において、令和5年と令和6年を比較すると、3・1パーセント上昇しているため、物価の上昇を考慮し下水道使用料の値上げ幅を3・1パーセント縮小した。

また、今後3年ごとに今回と同様の改定率で改定を行った場合、令和16年度に経費回収率100パーセントを達成する見込みであるため、今回を含めて4回の改定を行う必要がある。下水道

使用料の改定に当たっては、公共下水道と浄化槽世帯のバランスを的確に捉えた上で、早急に公共下水道の経費回収率100パーセントを目指すことが肝要である。

新エネルギー等関連設備 導入促進事業費補助金 について

Q 新たに電気自動車も補助対象となるが、充電設備の整備はどのような状況なのか？

A 市内には充電設備が24拠点は未整備である。民間事業者のサービスを利用して整備を行っている自治体が増えているため、本市においても、民間の普及状況なども鑑みながら、公共施設への整備について検討したい。



石鎚山ハイウェイオアシスに設置されている充電設備